

1 各学部の目標と重点事項

	小学部	中学部	高等部
各学部の目標	<ul style="list-style-type: none"> 児童の命や人権を守り、児童一人一人の発達段階や特性、教育的ニーズに応じた教育を行い、学ぶ楽しさやできることの喜びを経験することを通して、人や物への興味・関心を広げ、心豊かに生きる児童を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の命や人権を守り、一人一人の発達段階や特性、教育的ニーズに応じた教育を行い、社会生活における基本的な力を身に付けることができるようにするとともに、心豊かに明るくたくましく生きることのできる生徒を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の命や人権を守り、一人一人の実態や教育的ニーズに基づいた青年期における課題の解決や人間形成の確立を図り、卒業後の自立と社会参加の実現に積極的に関与することのできる生徒を育成する。
各学部の重点事項			
確かな学びの実現	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程を編成し学部間、課程間、学年間の連携を図り、学びの積み上げを重視した教育に努める。 児童一人一人の発達段階や特性に応じた教育的ニーズを把握し、個別的教育支援計画や個別の指導計画に基づいた授業実践や評価・改善を行う。 自己選択、自己決定のできる場面を設定し、発声や言葉、サイン、表情等コミュニケーション力の基礎を育成する。 児童が興味・関心をもって取り組めるように、個々の状態に応じた教材・教具やICT活用による学習環境を整え、授業実践を通じた評価・改善を行う。 病棟や保護者との連携のもと、個々の障害の状態や病状、特性などを把握し、指導目標や内容を設定するとともに、学部との共通理解を深め、授業の充実を図る。(訪問教育学級) 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨や学部間の学びの積み上げを重視した教育課程を編成し、小、中、高一貫した教育を行う。 生徒一人一人の発達段階や特性、教育的ニーズを共通理解し、個別的教育支援計画や個別の指導計画に基づいたきめ細かな指導および評価・改善を行う。 自主的、主体的な学習を推進し、基礎・基本の習得、活用を図る。 発声や言葉、サイン、表情等によるコミュニケーション能力を育成する。 主体的に生き生きと活動することができるよう、個々の状態に応じた教材・教具やICT活用による学習環境を整え、授業実践を通して改善を行う。 病棟や保護者との連携のもと、個々の障害の状態や病状、特性などを把握し、指導目標や内容を設定するとともに、学部との共通理解を深め、授業の充実を図る。(訪) 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨を踏まえ、学びの積み上げをもとに社会生活につながる年間指導計画の見直し、編成に努める。 授業実践の評価改善を基に学習を計画し、生徒が理解を深めたり、課題を解決したりできる指導法の改善、教材・教具等の開発に努める。また、ICTの活用を積極的に取り入れ、さらなる学習環境の整備に努める。 各課程を定期的に設定し、個別の指導計画の目標や手立てを共有し、きめ細やかな指導の一貫性を図る。 これまで習得・活用してきたコミュニケーション能力の幅をさらに広げ、自己発信しながら学びに向かうことができる力を育成する。 病棟や保護者との連携のもと、個々の障害の状態や病状、特性などを把握し、指導目標や内容を設定するとともに、学部との共通理解を深め、授業の充実を図る。(訪)
豊かな人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> 合同学習等、学年を越えた児童同士の学び合いの場を設定し、他者を意識する関わりの充実や他者の気持ちに気付く場面を増やすことで自分のことを意識する心や他者を思いやる心を育てる。 SDG sの考えを基に、児童の生活年齢と人権を尊重し、挨拶や決まりを守ることなど、基本的な生活習慣の定着を図る。 交流及び共同学習での同学年や異年齢集団との関わりや、校外学習等の体験的な学習を通して、生活経験の拡大を図り、社会性や豊かな人間性を育む。 多様な経験を通して、人やものを意識し自発的な発信行動を引き出す学習形態や指導体制を工夫する。(訪問教育学級) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校、学部行事や交流学習、集団学習を通して、友達や周囲の人との関わりや社会経験の拡大を図り、豊かな情緒や社会性を育てる。 SDG sの考えを基に、生徒一人一人の生活年齢と人権を尊重した指導や、自尊感情を大切にしながら指導を推進する。 校外学習等の体験的な学習により、興味・関心の幅を広げ、社会経験、生活経験の拡大を図る。 多様な経験を通して、人や物を意識し、自発的な発信を引き出す学習形態や指導体制を工夫する。(訪) 	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動で一人一役、他者(の思い)への気づきを促す活動を工夫し、責任感や所属感、自己有用感を持つようにする。 SDG sの考えを基に、青年期における生徒一人一人の人権を尊重し、生徒が自己の課題解決や興味・関心の拡大に向けて行動し、自尊感情や自己肯定感を高められるようにする。 交流及び共同学習や校外学習、産業界等における実習等を通して、社会的な経験や生活体験の拡大を図る。 多様な経験を通して、人や物を意識し、自発的な発信を引き出す学習形態や指導体制を工夫する。(訪)
健康で安心・安全に学べる教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 登校時における病棟や保護者からの申し送りや日々の健康観察を入念に行い、個々の体調や病状に応じた対応や指導内容を選定する。 感染症対策を徹底し、教室及び特別教室等の整備(設営・室温の調節・安全)や衛生管理(消毒・換気)、教材・教具や校内周辺の整備に取り組むとともに、避難訓練等を通して、防災教育の充実を図る。 医療的ケアへの理解を深め、養護教諭、特別支援学校看護師、保護者と連携し、安全かつ適切な医療的ケアの実施に努める。 家庭との連携を密にし、個に応じた食習慣の定着を図る。 病棟や保護者との連携のもと、児童生徒の日々の体調に合わせた指導に努めるとともに、環境(換気、衛生、安全、音量、設営)などを整備する。(訪問教育学級) 	<ul style="list-style-type: none"> 登校時における病棟や保護者からの申し送り、日々の健康観察を入念にし、個々の体調や病状に応じた対応や指導内容を選定し、授業を実施する。 感染症対策を徹底し、教室及び特別教室等の整備(設営・室温の調節・安全)や衛生管理(消毒・換気)、教材・教具や校内周辺の整備に取り組むとともに、避難訓練を通して、緊急時対応マニュアルの徹底と改善に努める。 医療的ケアへの理解を深め、養護教諭、特別支援学校看護師、保護者と連携し、安全かつ適切な医療的ケアを実施する。 家庭との連携を密にし、食に関する指導の充実を図る。 病棟との連携のもと、児童生徒の日々の体調に合わせた指導に努めるとともに、環境(換気、衛生、安全、音量、設営)などを整備する。(訪) 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や関係機関等との連絡、本人の意思確認を密に行い、体調や病状の状態に応じて指導内容や学習姿勢に配慮し、担当者間の連絡を確実に行うようにする。 養護教諭、特別支援学校看護師、保護者と連携して健康管理や必要な医療的ケアを継続し、生徒の適切な学習環境の整備に努める。 感染症対策や衛生管理を徹底するとともに、施設設備の定期的な点検及び整備、避難訓練等を通して、緊急時対応マニュアルの徹底と改善に努める。 家庭との連携を密にし、食に関する指導や口腔ケアの充実を図る。 病棟や保護者との連携のもと、児童生徒の日々の体調に合わせた指導に努めるとともに、環境(換気、衛生、安全、音量、設営)などを整備する。(訪)
自立と社会参加	<ul style="list-style-type: none"> 長期的な視野で児童一人一人のキャリア発達の課題を明確にし、自己理解や役割を意識した指導に取り組み、他者と関わる力の育成に努める。 ケース会などを通して関係機関との連携を密にし、進路指導係と連携して進路希望調査を行い、PTA等で情報提供を行う。 病棟や保護者、学部と連携し、多くの人と関わる経験をもてるように、集団活動の機会を設定する。(訪問教育学級) 	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導主任と連携してPTA等で進路に関する情報提供をしたり、進路相談を計画したりする。 卒業後の余暇の充実に向けて、好きなことや興味・関心のあることの充実・拡大を図る。 各ケース会を通して関係機関との連携を密にし、生徒の情報共有を図り、指導に生かしていく。 病棟、学部と連携し、多くの人と関わる経験をもてるように、集団活動の機会を設定する。(訪) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校設定教材「自立と社会参加」、産業界等における実習や校内実習等の充実を図りながら、個々の課題を明確にし、社会生活に必要な知識や技能の定着に努める。 進路指導部と連携して学部PTA等で進路情報の提供や進路スケジュールの提示、個別の相談等を行い、保護者の理解、協力を得るようにする。 各ケース会や四者面談、巡回指導等を通して、地域の医療や福祉と連携し、生徒の情報共有に努める。 病棟や保護者、学部と連携し、多様な人と関わる経験を重ね、自分らしい表現や役割を果たす場面を設定する。(訪)